



御影北だより

令和元年度 2月号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>



早いもので、2月になりました。今年は、例年になく暖冬で、1月は、3月から4月の気温の日が多くありました。北部のスキー場では、例年この時期には、たくさんの雪が積もっているのですが、今年は、雪が降っていないようです。6年生が冬季野外活動に行く頃には、雪が降ってほしいなと思います。

<みんなの手で、新たな御影北の伝統を！！>

さて、新校舎ができて、ひと月が過ぎました。子供たちは、自分たちの学校がさらに大好きになったようです。

毎朝校門で、挨拶をしながら子供たちを迎えているのですが、「元気なあいさつ・丁寧なあいさつ」がどんどん増えてきました。挨拶当番の高学年の子供たちも続けて頑張ってくれています。この素敵な挨拶がさらに広がり、「いつでも・どこでも・誰とでも挨拶ができる」ようになればうれしいです。

また、1月から休み時間に、アリーナ（体育館）を開放しています。どの学年の子供たちも、その時間をとても楽しみにしていて、元気いっぱい鬼遊びを楽しんでいます。友達と仲良く元気に遊ぶ姿がさらに広がればと思います。

当初は、自分の教室や特別教室の場所がわからなくなり、迷っている子供もいましたが、最近では慣れてきたように思います。車の運転と同じで、慣れてきた時こそ注意が必要で、油断せずしっかりきまりを守って、安全に楽しい学校生活を送ってほしいです。

この機会に、「新しい御影北小学校の伝統」を子供たちと一緒に作っていただけると幸いです。

<す・が・た>

す・・・すすんでする子 が・・・がんばりぬく子 た・・・たすけあう子

は、本校の子供たちのめざしてほしい姿です。学習や生活・遊び等を通して、この目標が達成できるように、どのクラスでも励まし、支援しています。

先日、朝会で「きれいな校舎をいつまでも保っていくためには、どうしたらいいか」考えてほしいと投げかけました。率先して自分の考えたことを取り組んでいる子供や学級会で取り上げて、みんなで考えているクラスもあったと聞いて、学校目標の「す・・・すすんでする子」が、定着しつつあるなと感じました。

ご家庭でも、子供たちの行動で「す・が・た」が見られましたら、励ましていただければと思います。2月もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 長谷川 秀治